

中学校第1学年 技術・家庭科（家庭分野）学習構想案

日 時 令和2年〇〇月〇〇日（〇）第〇校時
 場 所 1年〇組教室
 指導者 教諭 〇〇 〇〇

1 題材構想

題材名	家族・家庭や地域との関わり		
題材の目標	(1) 家族の互いの立場や役割，家族関係をよりよくできること，家庭生活と地域との相互の関わり，高齢者など地域の人々と協働する必要があること，介護など高齢者との関わり方について理解する。 (2) 家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり，協働する方法について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 (3) 家族や地域の人々と協働し，よりよい生活の実現に向けて，家族・家庭や地域との関わりについて，課題解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとする。		
題材の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①家族の互いの立場や役割が分かり，協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。 ②家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり，高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解している。	①家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり，協働する方法について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	①家族や地域の人々と協働し，よりよい生活の実現に向けて，家族・家庭や地域との関わりについて，課題解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。
題材終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
家族・家庭や地域との関わりにおいて，家族の互いの立場や役割，家庭生活と地域との相互の関わり，高齢者など地域の人々ととの協働に関する知識や，課題を解決する力を身に付け，家族や地域の人々ととの関わり方を工夫し創造しようとする生徒			
題材を通した学習課題		本題材で働かせる見方・考え方	
よりよい生活のために，家族や地域の人々と，どのように関わるとよいのだろうか。		「協力・協働」の視点から，課題を解決する力や，家族や地域の人々ととの関わり方を工夫し創造しようとすること。	
指導計画と評価計画（6時間取扱い 本時3／6）			
過程	時間	学習活動（「問い」を設定しても可）	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
家族や地域の人々との関わり	1	○家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり，家族や地域の人々と協力・協働し，よりよい家庭生活に向けて問題を見だし，課題を設定することができる。 ・自分と家族や地域の人々ととの関わりを図等に表す。 ・自治会長など地域の人による講話等を通して，家庭生活と地域との関わりについて話し合う。 ・家族や地域の人々ととの関わりについて問題点を挙げ，課題を設定する。	【思①】家族や地域の人々ととの関わりについて問題を見いだして課題を設定している。 ・学習カード 指導に生かす評価 ★【知①】家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることについて理解している。 ・学習カード
よりよい生活のために，家族や地域の人々と，どのように関わるとよいのだろうか			

<p>家族関係をよりよくするには</p>	<p>2 3 (本時)</p>	<p>○家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解できるとともに、家族関係をよりよくする方法について考え、工夫することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・模擬家族の事例や物語などを活用して、ロールプレイング等を行い、家族関係をよりよくする方法について問題を見だし、課題を設定する。 ・模擬家族の立場や役割を考えて、「協力」の視点から、家族関係をよりよくする方法を話し合う。 ・課題の解決策をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★【知②】家族の立場や役割が分かり、協力することによって、家族関係をよりよくできることについて理解している。 ・学習カード ★【態①】家族との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・ポートフォリオ・行動観察 ★【思①】家族関係をよりよくする方法について問題を見だして課題を設定している。 ・学習カード ★【思②】家族関係をよりよくする方法について考え、工夫している。 ・学習カード
<p>高齢者との関わり方</p>	<p>4</p>	<p>○高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の一員として、地域の人々と協働することについて話し合う。 ・体験的な活動を通して、高齢者の身体の特徴や介助の方法についてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★【知③】高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解している。 ・学習カード *ペーパーテスト ★【態②】高齢者など地域の人々との関わりについて、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・ポートフォリオ・行動観察
<p>地域の人々との協働</p>	<p>5 6</p>	<p>○高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について考え、課題をもって「地域の人々との協力・協働プロジェクト」の実践計画を工夫することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動について、問題を見だし、課題を設定する。 ・「地域の人々との協力・協働プロジェクト」の実践計画を立てる。 ・ICTを活用して、ペアやグループで地域での実践計画を発表し合う。 ・他者の意見や新たな情報により、実践計画を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★【思①】高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見だして課題を設定している。 ・「地域の人々との協力・協働プロジェクト」計画書 ★【思②】高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について計画を考え、工夫している。 ・「地域の人々との協力・協働プロジェクト」計画書・行動観察 ★【思③】高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・「地域の人々との協力・協働プロジェクト」報告書・行動観察 ★【思④】家族や地域の人々との関わりについての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 ・「地域の人々との協力・協働プロジェクト」報告書・行動観察

*ペーパーテストについては、ある程度の内容のまとまりについて実施する。

2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所(内容, 指導事項等)																																																																
「A家族・家庭生活」 (3) 家族・家庭や地域との関わり																																																																
教材・題材の価値																																																																
家庭や家族の基本的な機能や家庭生活と地域との関わりを理解するとともに, これからの自分と家族について考えることを通して, 家族関係をよりよくする方法や地域の人々と関わり協働する方法を具体的に考えたり, 課題を解決したりする実践的な態度を養うことに適している。																																																																
本題材における系統																																																																
第1学年 「自分の成長と家族・家庭生活」 ・家族・家庭の基本的な機能	第1学年 「家族・家庭や地域との関わり」 ・協力によるよりよい家族関係 ・地域の人々との協働の必要性 ・高齢者との関わり方	第3学年 「幼児の生活と家族」 ・幼児の発達と生活の特徴 ・子供が育つ環境としての家族の役割 ・幼児にとっての遊びの意義 ・幼児との関わり方																																																														
		第3学年 「家族・家庭生活についての課題と実践」 ・課題解決への取組 ・家庭や地域での実践																																																														
生徒の実態 (題材の目標につながる学びの実態)																																																																
■本題材を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況																																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>調査内容</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家庭での自分の役割 (仕事) はありますか。</td> <td>ある</td> <td>ない</td> </tr> <tr> <td>どんな役割 (仕事) ですか。</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					調査内容			家庭での自分の役割 (仕事) はありますか。	ある	ない	どんな役割 (仕事) ですか。																																																					
調査内容																																																																
家庭での自分の役割 (仕事) はありますか。	ある	ない																																																														
どんな役割 (仕事) ですか。																																																																
■本題材の学習に関する意識の状況																																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>調査内容</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族とよく話をしますか。</td> <td>よく</td> <td>まあまあ</td> <td>あまり</td> <td>ない</td> </tr> <tr> <td>家族と過ごすことは楽しいですか。</td> <td>とても</td> <td>まあまあ</td> <td>あまり楽しくない</td> <td>楽しくない</td> </tr> <tr> <td>高齢者と同居していますか。</td> <td colspan="2">している</td> <td colspan="2">していない</td> </tr> <tr> <td>高齢者と触れ合う機会がありますか。</td> <td>よく</td> <td>まあまあ</td> <td>あまり</td> <td>ない</td> </tr> <tr> <td>中学生と高齢者の体の違いがわかりますか。</td> <td>よく</td> <td>まあまあ</td> <td>あまり</td> <td>わからない</td> </tr> <tr> <td>どのような違いがありますか。</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>高齢者と接するときの工夫がわかりますか。</td> <td>よく</td> <td>まあまあ</td> <td>あまり</td> <td>わからない</td> </tr> <tr> <td>どのような工夫がありますか。</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>地域の人と触れ合う機会がありますか。</td> <td>よく</td> <td>まあまあ</td> <td>あまり</td> <td>ない</td> </tr> <tr> <td>地域の行事に参加することはありますか。</td> <td>よく</td> <td>まあまあ</td> <td>あまり</td> <td>ない</td> </tr> <tr> <td>どのような行事に参加しますか。</td> <td colspan="4"></td> </tr> </tbody> </table>					調査内容					家族とよく話をしますか。	よく	まあまあ	あまり	ない	家族と過ごすことは楽しいですか。	とても	まあまあ	あまり楽しくない	楽しくない	高齢者と同居していますか。	している		していない		高齢者と触れ合う機会がありますか。	よく	まあまあ	あまり	ない	中学生と高齢者の体の違いがわかりますか。	よく	まあまあ	あまり	わからない	どのような違いがありますか。					高齢者と接するときの工夫がわかりますか。	よく	まあまあ	あまり	わからない	どのような工夫がありますか。					地域の人と触れ合う機会がありますか。	よく	まあまあ	あまり	ない	地域の行事に参加することはありますか。	よく	まあまあ	あまり	ない	どのような行事に参加しますか。				
調査内容																																																																
家族とよく話をしますか。	よく	まあまあ	あまり	ない																																																												
家族と過ごすことは楽しいですか。	とても	まあまあ	あまり楽しくない	楽しくない																																																												
高齢者と同居していますか。	している		していない																																																													
高齢者と触れ合う機会がありますか。	よく	まあまあ	あまり	ない																																																												
中学生と高齢者の体の違いがわかりますか。	よく	まあまあ	あまり	わからない																																																												
どのような違いがありますか。																																																																
高齢者と接するときの工夫がわかりますか。	よく	まあまあ	あまり	わからない																																																												
どのような工夫がありますか。																																																																
地域の人と触れ合う機会がありますか。	よく	まあまあ	あまり	ない																																																												
地域の行事に参加することはありますか。	よく	まあまあ	あまり	ない																																																												
どのような行事に参加しますか。																																																																
■考察																																																																
<p>(資質・能力に関して) 小学校での学習や家庭分野のガイダンスにおいて, 家庭における自分の役割について考えることはできているものの, さまざまな場面において, 具体的な工夫ができる力を身に付け, 課題を解決するためにできることを見つけ, 実践に結び付ける必要がある。</p> <p>(学びに関して) 主体的・対話的で深い学びの視点から学びの状況を見ると, 家庭で手伝いをするものはあるものの, 家族の一員, 地域の一員として主体的に役割を果たすことについては, あまりできておらず, 題材を通して, 家族や地域とよりよい関係を築くために工夫しようとする学習が必要である。高齢者との体の違いは「わかる」という生徒が多いが, どのように接するとよいかを具体的にイメージできていないことが伺えるため, 高齢者の介助の基本を学ぶことで, 「協働」につながるようにする。また, 地域への行事に参加する生徒の割合があまり高くないことから, 「協力・協働」の視点から家族や地域の人々との関わりを考えさせる必要がある。</p>																																																																

3 指導に当たっての留意点

- ロールプレイングや話し合い活動を通し, 生徒一人一人が自分の課題を持ち, 家族関係をよりよくするためには, どのような方法があるのか, 家族の一員としてどのようなことができるのか具体的に考えることができるようする。
- 地域の活動や, 行事等を調べることにより, 自分や家族の生活は, 地域の人々とのつながりのなかで成り立っていることに気付くことができるようにする。
- 授業後は, 家庭での実践を継続的に記録させ, 生活において習慣化できるようにしていく。生徒のプライバシーには十分配慮する。

4 本時の学習

(1) 目標

家族との関わりについて問題を見いだし、課題を設定し、家族関係をよりよくする方法について考え、工夫することができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	<p>1 本時の学習課題を確認する</p> <p>①前時までの学習を振り返る。 ◇これまでは、家族には役割があることや、私たちの成長や生活は、家族や家庭生活に関わる地域の人々に支えられていることについて学習したな。</p> <p>②家族関係について考えたことや気付いたことを整理する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【めあて】よりよい家族関係をつくるためにどんなことができるか考えよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【学習課題】 家族関係をよりよくするために、家族の一員としてどのようなことができるだろうか。</p> </div>	<p>○なりたい家族を目指して生活する中で起きるトラブルを提示し、自分の生活を簡単に振り返らせる。</p>
展開	35分	<p>2 模擬家族会議を行う</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>こんな時どうしますか？ 「家族に病気で入院する人が出たら…」</p> </div> <p>①事例の状況をつかむ。 ◇私は事例家族の中のどの立場で考えるといいのかな。</p> <p>②グループで話し合い、台詞を学習シートに記入し、ロールプレイングを行う。 ◇私が父の立場だったら何と言うだろうか、その時、どのような気持ちなのだろうか。</p> <p>③グループごとに発表する。</p> <p>④各班の解決策を確認する。</p> <p>3 よりよい家族関係を築いていくために中学生としてできることや心がけることを考える ◇勉強や部活が忙しくて、家族の気持ちを考えられなかったこともあったな。</p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【期待される学びの姿】 自分の生活や事例の家族について課題を見つけ、家族関係をよりよくするために、様々な視点から家族の一員としてできることを具体的に考え、次の課題に生かそうとしている。</p> </div>	<p>○模擬家族の立場や役割を考えて、「協力」の視点から、家族関係をよりよくする方法を話し合う。</p> <p>○それぞれがその役になりきり、課題解決に向かうような台詞を考え、その理由を説明できるようにし、活動に取り組みやすくする。</p> <p>○立場を変えて台詞を考え、相手の立場に立って考えることによって考えが深められるようにする。</p> <p>○ほかのグループの発表内容を聞くことで、その内容を共有したり、違いに着目したりすることができる。</p> <p>○模擬家族の役割から離れ、中学生として自分の家族の課題を解決するために、どんなことができるのか考え、実践カードに記入させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【具体の評価規準】思①② ○自分の生活や事例の家族について課題を見つけ、家族関係をよりよくするために、家族の一員としてできることを具体的に考えている。</p> </div> <p>【到達していない生徒への手立て】 ○グループ内での役割を確認したり、なぜその台詞を記入したのかを確認したりして、具体的にできることを考えるように促す。</p>
終末	5分	<p>4 本時のまとめ、振り返りをする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【まとめ】家族関係をよりよくする方法について考え、家族の課題の解決策を工夫することができた。</p> </div>	<p>○本時の学びの成果や課題とその要因、課題の解決方法等を共有する。</p> <p>○自らの学びを調整したり、新たな問いを設定したりするなど、振り返りを具体的に挙げる。</p>

【板書計画】

めあて よりよい家族関係をつくるためにどんなことができるか考えよう		
模擬家族会議のテーマ	各班の課題と解決法 1班： 2班： ・ ・	家族関係をよりよくするための解決策

【ICT活用計画】

教師による教材提示の計画，ICTを活用した発表，まとめ等による考えの共有の計画等

- 班でロールプレイをする際，個々で考えた台詞をタブレット上で共有，検討させる。
- 高齢者との関わり方に関する体験をする際（疑似体験や歩行の介助の練習など），タブレットで体験の様子を撮影し，それをもとに介助する側，される側，気を付けることなどを話し合う。
- 全体で班ごとに発表をする際，実践の状況がわかる資料や，タブレット上で検討した改善策を電子黒板で示しながら説明し，全体で共有する。

【見方・考え方を働かせて解く適用問題等の計画】

題材の終末では，見方・考え方を働かせて次の学習に取り組む

- 例1 ※本題材の終末でたてた「地域の人々との協力・協働プロジェクト」の実践計画を生かして，評価・改善するなどして「家族・家庭生活についての課題と実践」に取り組みさせることなども考えられる。
- 例2 ※本題材で働かせた見方・考え方を生かして，「B衣食住の生活」の「(6)住居の機能と安全な住まい方」における自然災害への備えとの関連を図り，災害時の避難所において，中学生として地域の人々の居心地をよくするためにできることについてまとめさせる活動なども考えられる。
- 例3 ※本題材における高齢者の身体の特徴や幼児の発達との関連を図り，「B衣食住の生活」の「(6)住居の機能と安全な住まい方」における幼児や高齢者の家庭内の事故の防ぎ方について考えることができるようにする。